

温かいお正月を、みんなで応援 561世帯に約7.3トンを届けました

冬休みのあったか元気便は、561世帯、2,048人家族の方に約7.3トンの食品を届けました。夏休み便では、みなさんからの応援で「米騒動」を乗り越えましたが、物価値上がりの続く中、お餅約100kg（新和設備工業さん）の寄付をはじめ、たくさんの団体、企業や個人のみなさん（別掲）から、応援をいただきお蔭様で年越しそばやお正月のお餅を届けることができました。

12日の引き渡し日には、宍道湖漁協さんシジミ200kg、田辺農園さん秋冬キャベツ240kg、合同青果さんタマネギ、ジャガイモ200kg、上口福社会さん野菜35kg、井ゲタ竹内さん冷凍薄塩サバ64kgなど、約1トンの品々を寄贈いただきました。

20日には宅急便の届いたAさん（母子家庭4人）から、「ありがとうございます。みなさまのおかげさまで、無事に年が越せそうです。本当にありがとうございます」と早速、お礼のメールが届きました。



宍道湖漁協のみなさん

連合島根さんからお米540kg 子どもたちも田植え、稲刈りをお手伝い

12月3日、連合島根さんの成相善朗会長さんから、酷暑の中、同会が丹精込めて育ててこられたアフリカ支援米の一部540kgのお米が贈呈されました。

春日理事長は、「おかげさまで、なんとか冬休み便は561世帯に4トンのお米を届けることができます。利用者増とお米の価格高騰の中で、来年の春休み、夏休みの目途がたっておらず引き続きご支援をお願いします」とお礼とお願いを述べました。

このお米は、フードバンク利用世帯の子どもたちや家族さん、のべ37人も参加し5月の田植え、10月の稲刈りをお手伝いしました。



クリスマス会 ケーキづくりやゲームで楽しみました

12月21日、一足早いクリスマス会がフリースクールサクラ高等学院、島根大学BBSサークル、古志原地区社協と共催で開かれ小学1年生から中学1年生までの11人の就学援助世帯の子どもたちなど総勢28人が参加。この日のお昼ごはんは、ローストチキンやかぼちゃのポタージュスープなどのクリスマスメニューを、古志原地区民児協のみなさんが朝から準備して子どもたちを迎えました。お昼からのクリスマス会では、みんなでゲームを楽しみ、ゲームでゲットした果物などを思い思いに飾り付けたクリスマスケーキができました。

おしまいには、サンタさんから抱えきれないほどの文房具やお菓子などクリスマスプレゼントが贈られ、子どもたちは歓声をあげて大喜びでした。参加した小学3年生のA子ちゃん（小3年生）は「超うれしいー、たのしかった」と自作のケーキをおうちにもって帰って、

「みんなで、いっしょにたべようね。おいしいといってくれたらうれしいな」とメッセージも添えました。初めてクリスマス会を取り組んだ実行委員のサクラ高等学院のA君は「子どもたちに喜んでもらってがんばった甲斐がありました」と取り組んだ感想を笑顔で話していました。



年末の忙しい中、のべ434人のボランティアさんが応援

11月中旬からはじまった冬休みのあったか元気便の食品チェックや仕分け、パッキング、発送作業は、スタッフ・ボランティアなど、のべ434人のみなさんが応援。

16日、いきいきプラザ体育室のパッキングボランティアに参加したAさんは、「メッセージカードばかりでなく、会場に来られた人たち、食品の取り扱いなど、参加者のみんなの温かい心のこもった雰囲気を感じることができてうれしかった」とはじめて参加された感想を寄せていました。

和やかな中にも、 しっかり学習

12月8日、時折、雪も降り出す生憎の天気の中、第3回の「応援塾」が開催されました。この日は、18人の中学3年の受講生をはじめ学生講師ボランティアなど37人が参加しました。なかなか学校に通えなくなっているAくんも、悪天候の中、元気を出して受講しました。

はじめて講師で参加した島大生のA君は、「みんなまじめに受講してくれた。こちらもしっかり教えることができました」と充実ぶりを語っていました。3月の受験が迫る中で、和やかななかにも、緊張感も出てきました。

応援塾はあと2回開催

応援塾は、途中からも受講できます。今後の開催は、

1月26日（日）

2月16日（日）

会場は、いずれも島根大学松江キャンパスで。受講料無料、昼食も用意します。ご不明の点は

☎ 0852-67-7350

✉ attakagenkibin@gmail.com

